



写真1

たな研究テーマで、共同研究を開始しようとしているところ（ちなみに、大槻はその会社さんの「森林環境を寝室に」という商品のPVにも出演し、研究内容を説明しているとともに、大槻が学生時代から取り組んでいる楽曲制作に関連して、そのPVの一部でオリジナル楽曲を使ってもらっています）。

学生諸子との触れ合いの中では、西村准教授は、演劇部の顧問をしており、公演の際にもSNSなどで積極的にPRもしていますし、彼自身が少しドラマティックにも生きているのかな？ 元気に頑張っています。また、西村准教授は、2016年11月から来年の1月まで大学からの指名でOxford大学Green Templeton Collegeに派遣されて、英国の地で川崎医科大学を代表して研究に務めている最中です。

また教授の大槻は、ぬいぐるみ病院とストリート・ダンス部の顧問と、大学連携の大学コンソーシアム岡山を担当しています。ぬいぐるみ病院のみんなには、いつも「日ようび子ども大学」というイベントに出展してもらって嬉しく思っていますし、ダンス部のメンバーとは、2015年の春に、隠れ…un-official川崎医科大学・学歌「K.M.S.」のPVを録画して、YouTubeにアップしております。すでに本稿を執筆時点で3,083アクセスを頂いております。読まれている皆様、是非、アクセスして楽しんでみてください。YouTubeで「K.M.S.」あるいは「大槻剛巳」で検索していただければご覧いただけますよ。

教室は、講師の吉留先生、助教の武井先生、松崎先生そして李先生が在籍しています。みんな、小

グループの活動などにも積極的ですし、また、ESSクラブとの関係（大槻が昔、顧問をしていました。ちなみに、陸上部も軽音楽部も、元顧問です）で、ほぼ毎年、国際医学生連名（IFMSA）からの留学生を受け入れて、助教の先生たちが、研究の指導などを行っています。写真1は、2016年夏、IFMSAを介して、Finlandからの、Ms. Laura Leinonen、RussiaからのMs. Aliia Sayfullina（と、その旦那さん）の川崎医科大学での

研修の最終日、臨床現場の見学でもお世話になった小児科や胸部外科の先生と過ごしたTea Partyの様子です。こうやって海外の医学生との触れ合いも、衛生学では夏の風物詩的になっていて、楽しく過ごさせてもらっています。

さらに、2016年10月からは北京大学の公衆衛生大学院から余珉先生が1年間の留学に来てくれました。彼も元々中国でもアスベスト関連の研究をしてきた人材で、WEBなどで衛生学の研究業績を見つけて、留学希望のメールを送ってきてくれて、晴れて10月から一緒に研究をする仲間になりました。写真2は余先生の歓迎と、前述の英国に旅立つ西村先生の壮行会を兼ねたランチの様子です。

皆さん、社会医学系にも興味を持って下さい。研究に邁進するとともに、社会的背景を鑑みながら如何に我々の持っている知識と技能を社会に寄与できるかということ深く考えると共に、実践できる学問領域でもあります。そして時々、musicとdanceとtheatrical performancで楽しみましょう！



写真2